


デビュー25周年を迎えた津軽三味線奏者 吉田兄弟が奏でる
研ぎ澄まされた三弦の響き。生音ならではの音楽会。

デビュー25周年記念

吉田兄弟

— 極生 —

2025年 **2月8日** **土** 14:00開演
(13:30開場)

 逗子文化プラザなぎさホール

[全席指定] 一般 4,000円 高校生以下 2,500円 ※未就学児は入場できません。

チケット発売日 10月4日(金) チケット発売 ※発売初日のみ 市民10:00~/一般13:00~

チケットお取扱い・お問合せ

逗子文化プラザホール 046-870-6622

受付時間9:00~20:00 <https://www.bunka-plazahall.com/>

チケット
購入ページ



有料託児
サービスあり

公演2週間前までに要予約

※お問合せ、お申込みは
逗子文化プラザホールへ。

デビュー25周年記念

吉田兄弟

—極生—

デビュー以来、三味線の新たな可能性を追求してきた、津軽三味線奏者 吉田兄弟。
津軽三味線の魅力を楽器とホールの生の響きだけでお届けします。
極上のパフォーマンスをお見逃しなく！



吉田兄弟 Yoshida Brothers 吉田 良一郎 / 吉田 健一

2024年、デビュー25周年を迎えた津軽三味線の第一人者、吉田兄弟。北海道登別市出身。ともに5歳より三味線を習い始め、1990年より津軽三味線奏者初代佐々木孝に師事。津軽三味線の全国大会で頭角を現し、1999年アルバム「いぶき」でメジャーデビュー。邦楽界では異例のヒットを記録し、2003年の全米デビュー以降、世界各国での演奏活動や国内外問わず様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。

2015年には「連載完結記念NARUTO-ナルト-展」とコラボした楽曲「PRANA」がリリースされ大きな話題となった。また、良一郎は代表的な和楽器による学校公演を中心とした新・純邦楽ユニット「WASABI」を始動させ、健一は平成27年度文化庁文化交流使としてスペイン・バルセロナに滞在し活動したことをきっかけにバルセロナ高等音楽院で津軽三味線講義を開始。

2017年は映画「KUBO/クボ二本の弦の秘密」(アカデミー賞ノミネート作品) 日本語吹替え版主題歌として「While My Guitar Gently Weeps」で参加。また、約3000万回再生を誇るレッドブル・アスリート、ジェyson・ポールによるパルクール映像のBGM「Cool Spiral」を提供。

2019年はヲタ芸/サイリウムダンスの世界大会に、吉田兄弟×Tom-H@ck CYALUME DANCE WORLD BATTLE テーマソング「雷-IKAZUCHI-」を提供。『東京2020 オリンピック1年前セレモニー "1Year to Go!"』ではオープニングパフォーマンスを務めた。

2020年7月から放送された『GIBIATE (ジビエート)』プロジェクトのアニメオープニングテーマ曲「GIBIATE」を、LUNA SEA や X JAPAN のギタリストとして活躍するSUGIZOと共同制作し発表。

同年、「100年後に継承される新たな伝統を共作し、未来へ遺す」をテーマに、20周年特別公演「吉田劇場2020」を開催。MIYAVI、H ZETTRIO、華風月、Creepy Nuts とコラボレーション。

2021年4月より放送されたTVアニメ『ましろのおと』エンディング主題歌の「この夢が醒めるまで feat.吉田兄弟」を加藤ミリヤと共同制作。同アニメでは津軽三味線監修も務める。

そして2024年、初の試みとなる楽器とホールの響きだけでパフォーマンスを行う全編生音公演「デビュー25周年 47+1 都道府県ツアー吉田兄弟-極生-」を実施。世界に通用する唯一無二の津軽三味線アーティストとして、日本伝統芸能の枠を超え、幅広い活躍が期待されている。



逗子文化プラザホール

TEL 046-870-6622 (受付時間9:00~20:00)

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子4-2-10

※第1・3火曜日、年末年始の12/29~1/3は休館
(国民の祝日の場合はその翌日休館)

アクセス

京浜急行「逗子・葉山」駅より
徒歩2分

JR「逗子」駅より徒歩5分

※駐車場の台数に限りがございます。
できる限り公共交通機関をご利用
ください。

なぎさホール座席表は
QRコードを読み取り
ご確認ください。



「CO2ゼロMICE®」

Powered by JTBコミュニケーションデザイン

本イベントは「グリーン電力証書」を利用し、CO2が
排出されない再生可能エネルギーを使用して開催
いたします。